

令和元年度 都島区運営方針

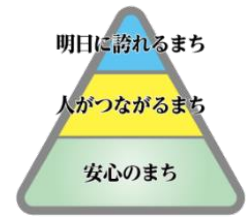
区の目標(何をめざすのか)

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現



区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・区民の自主的な活動を支援し、協働で取り組む
- ・多様な区民の声を把握し、施策に的確に反映する
- ・効果の高い行政サービスに選択と集中を図る



令和元年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現にむけて、様々な活動主体の取組を支援し、地域活動協議会(まちづくり協議会)を中心としたコミュニティ活性化につなげる。

地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実、子育て・教育環境の充実など、現役世代の活力を生み出す取り組みを重点的に進める。

水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成をはかるとともに、区民の視点に立ったサービスの向上、質の高い行財政運営に取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題1 安全・安心のまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(元年度予算額)
区民の防災・減災に対する意識の向上に取り組むとともに、災害時の行動の理解・実践につなげる必要がある。	(防災のまちづくり) 地域、行政、関係機関との連携した訓練や出前講座等の実施を通じて、防災意識の向上を図る。また、防災・減災について、日頃の備えの必要性を広めるとともに、災害時の避難行動につなげる。	(自助・共助の役割意識の醸成) 地域等が実施する防災訓練や防災・減災の啓発等の取り組みを支援することで、自助・共助の役割意識を高める。 (予算額 1,040千円)

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(元年度予算額)
これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民をはじめ、人と人がつながる機会の提供が必要である。	(コミュニティ豊かなまちづくり) イベント開催などにより、これまで地域との関わりが少なかった若い世代やマンション住民も参加する、人と人がつながる機会を提供する。	(地域コミュニティの推進) 区民まつりを区民参画型で開催し、区民が企画、運営、広報などを主体的に行えるよう実行委員会を支援することで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。 (予算額 8,071千円)

経営課題3 明日に誇れるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(元年度予算額)
都島区内では地域(小学校区)によって、生活や学習状況の差が大きいことから、すべての子どもの学習面での機会を確保する必要がある。	(未来の都島を担う人材育成) 経済的な理由等で学習面での機会が少ない児童に対して、学習の機会を提供し、学習習慣の定着に向けた取り組みを進める。	(小学生の放課後学習支援) 学習習慣の定着が十分でない児童を対象に、小学校の放課後に民間事業者による学習支援を行う。 (予算額 7,583千円)

経営課題4 区役所力の強化

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(元年度予算額)
行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。	(区民の声が区政に反映される仕組みづくり) すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。	(広報の強化) 広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。また、ホームページやSNS等を活用して、行政情報はじめ、地域活動の様子をタイムリーに発信する。 (予算額 19,910千円)

市政改革プラン2.0に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
【取組項目1】 歳入の確保	区役所屋上で発電した電気の売却をはじめ、駐車場、自動販売機、自動写真撮影機、広告付電子番号表示機、周辺案内地図等の使用料収入及び広報誌広告料、古紙売却料等により、継続的に歳入を確保する。 (目標) 歳入 29年度比 5%増(H29 14,914千円 → R1 15,660千円)
【取組項目2】 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修 1回 OJTの推進(日常業務を通じた職員の育成) 職員人材開発センター主催講座等への参加呼びかけ (目標) <ul style="list-style-type: none"> 直属の上司が日々の業務においてコンプライアンスを意識していると評価する職員の割合 78%以上 組織として、「市政改革プラン2.0」の基本的な考え方が理解され、自身の職場に関連するプランに基づく取組が実践できていると評価している職員の割合 65%以上 時間外自主研修に参加する職員の割合 20%以上
【取組項目4】 人と人とのつながりづくり (区政編 改革の柱1 I-A)	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練をはじめ、区の各事業でつながりの大切さを啓発する。 若い世代を中心に、つながりづくりの大切さと興味を持っていただけるイベントづくりや、人のつながりの大切さの情報発信を行う。 ホームページ、SNS、広報誌、掲示板など様々なツールで、自治会・町内会などのつながりづくりの活動を発信する。 (目標) 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 47%以上
【取組項目10】 地域活動協議会への支援 ① 活動の活性化に向けた支援(地域活動協議会の認知度向上に向けた支援) (区政編 改革の柱1 III-A)	地域の情報発信ツールとも連携するなど、ホームページ、SNS、広報誌、掲示板など様々なツールで、地域活動協議会の活動を効果的に発信する。 (目標) 地域活動協議会を知っている区民の割合 40%

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。

(安全・安心のまちづくり)

地域や関係機関等と連携した防災、防犯、環境美化活動の取り組みを進めた。特に防災では、地域主体の防災訓練への支援や防災出前講座などにより、自助・共助の役割意識の醸成を図り、関係機関と連携することで、防災対策機能の強化に取り組んだ。引き続き、幅広い世代への効果的な啓発を進める。

(人と人がつながり、助け合うまちづくり)

区民まつり、地域活動協議会の活動支援など、地域のつながりづくりや自律的な地域運営を促進した。引き続き、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進などを通して、長期的視点で地域コミュニティの活性を図る。

また、地域福祉コーディネーターによる身近な福祉課題への相談・訪問、地域の子育て情報の周知、不登校等の課題解決に向けたスクールソーシャルワーカー(SSW)による相談など、相談体制の強化に取り組んだ。引き続き、支援体制の強化を図るとともに、広報活動等に努め、相談窓口の認知度向上に取り組んでいく。

(明日に誇れるまちづくり)

区の歴史・文化などの魅力について、インターネット等を活用した動画配信を行うとともに、水辺を活用したスポーツイベント等の民間主体の賑わいづくりに取り組んだ。また、未来の都島を担う人材育成として、小学生の放課後学習支援、小・中学生を対象とした異文化と触れ合う交流機会の提供などに取り組んだ。引き続き、民間活力による水辺の賑わいづくり、区の魅力発信に取り組むとともに、学校内外で子どもが学力・体力向上に取り組めるよう支援するなど、区の実情に応じた教育施策を保護者や学校、地域と連携して推進する。

(区役所力の強化)

区政会議や区民アンケート等により多様な区民の意見やニーズを把握し、区民の声が区政に反映される仕組みづくりを進めるとともに、広報誌の全戸配付やSNSなどによるタイムリーな情報発信に取り組んだ。また、民間事業者による職員の接遇研修をはじめ、庁舎の改修工事、5S(職場環境の維持・改善等)活動などを行い、区役所来庁者の満足度向上に取り組んだ。引き続き、各媒体の特性に応じた効果的な情報発信に取り組むとともに、サービス向上の底上げを図る。

解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン2.0区政編」の改革の柱である「地域社会における住民自治の拡充」について、地域活動協議会の認知度向上や、担い手不足の解消など、解決すべき課題があると認識している。今後、「市政改革プラン3.0」に沿って、地域活動協議会による自律的な地域運営の実現に向けて、地域に関わりの薄い住民参加の促進をはじめ、地域の実情に即した活動支援に取り組んでいく。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報について、広報誌の連載やSNSなどを活用し、あらゆる機会を通じてタイムリーに発信することで、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、区民の意見やニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。

経営課題 1 安全・安心のまちづくり

防災のまちづくり

めざすべき将来像
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>
全区民が災害への備えをし、避難行動できる状態

現状<課題設定の根拠となる現状・データ>

災害が起きた時の動きや避難する場所を知っている区民の割合

年度	割合
H26	53%
H27	66%
H28	67%
H29	70%

(29年度区民アンケート)

災害への備えを意識している区民の割合

年度	備えをしている	備えをしようと思っている	合計
H27	36%	41%	77%
H28	30%	48%	78%
H29	48%	33%	81%

(29年度区民アンケート)

要因分析
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 広報誌や地域主体の訓練等を通じた防災に対する啓発を行うことで区民の防災意識は向上している。
- 一方、災害時の避難場所等を知っている区民の割合は7割であり、更なる向上が必要である。
- 備えの必要性を理解している区民の割合は約8割であるものの、備えをしている区民の割合は約半数に留まっている。

課題<上記要因を解消するために必要なこと>

- 区民の防災・減災に対する意識の向上に取り組むとともに、災害時の行動の理解・実践につなげる必要がある。

防犯のまちづくり

めざすべき将来像
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>
全区民が防犯を意識し、街頭における犯罪を抑止する環境が整っている状態

現状<課題設定の根拠となる現状・データ>

大阪重点犯罪5手口の区内犯罪発生件数

年度	5手口
H26	174件
H27	159件
H28	266件
H29	256件

5手口	ひったくり	路上強盗	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい
H28	10	4	15	172	65
H29	7	4	9	174	62
増減	-3	±0	-6	2	-3

要因分析
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 警察や地域と連携した防犯啓発等に取り組むことで、大阪重点犯罪5手口の平成29年の区内犯罪発生件数のうち、ひったくり・自動車盗・部品ねらいは昨年度に比べて減少しているものの、発生箇所の特定が難しい車上ねらいは増加している。

課題<上記要因を解消するために必要なこと>

- 区民の防犯意識の向上や警察と連携した効果的な啓発等により、犯罪を起こしにくい環境整備に取り組む必要がある。

人に優しいまちづくり

めざすべき将来像
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>
喫煙マナーが守られるなど、人に優しく、誰もが安全に通行ができる状態

現状<課題設定の根拠となる現状・データ>

29年度都島クリーン作戦アンケート
道路や公園に落ちていたごみについて、以前より少なくなったと思いますか

京橋地域の路上喫煙マナーが向上したと感じる区民の割合

・京橋地域を「路上喫煙禁止地区」に指定(27年2月)

要因分析
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 落書き消去活動、区内一斉清掃などの啓発等を行っているが、ポイ捨てごみや不法投棄、落書き等により、区民・来街者の不快感などを抱かせている。
- 京橋地域の、「路上喫煙禁止地区」について周知、啓発を行っているものの、路上喫煙によるマナーの悪さがあげられている。

課題<上記要因を解消するために必要なこと>

- ポイ捨てや受動喫煙被害の無いよう喫煙マナーなど環境美化意識を向上させるとともに、歩行者が安全に通行できる環境づくりに取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

(防災のまちづくり)
広報誌を含め様々な媒体やイベントを活用した啓発、また、地域防災訓練の支援などに取り組んだことにより、区民の防災意識は高まっており、戦略に対する取り組みは順調に進んでいる。

(防犯のまちづくり)
地域や警察と連携した防犯活動の取り組みは、区民の防犯意識の向上に寄与していると考えているが、交通マナーの啓発においては、アンケート結果を踏まえ、効果的な啓発活動等に取り組んでいく。

(人に優しいまちづくり)
ボランティア清掃活動やごみのポイ捨てなどのマナー啓発の取り組みを推進したことなどにより、区民の環境美化意識の向上に寄与していると考えているが、京橋地域の路上喫煙禁止地区の啓発においては、アンケート結果を踏まえ、更なる制度周知と喫煙マナーの向上に向け、効果的な啓発活動等に取り組んでいく。



1-1 防災のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題		
区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができてきている状態	地域、行政、関係機関と連携した訓練や出前講座等の実施を通じて、防災意識の向上を図る。また、防災・減災について、日頃の備えの必要性を広めるとともに、災害時の避難行動につなげる。				順調	有効であり、継続して推進	-		
アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞					前年度		今年度	個別評価	全体評価
日頃から防災・減災を意識している区民の割合 3年度までに80%以上					-		80%	順調	
災害が起きた時に避難する場所を知っている区民の割合 3年度までに80%以上					76%		77%	順調	順調
食料の備蓄や家具の固定、家族との連絡方法の確認など、災害への備えが来ている区民の割合 3年度までに60%以上					61%	66%	順調		
							今後の対応方向	-	

具体的取組1-1-1 自助・共助の役割意識の醸成

29決算額	925千円	30予算額	2,483千円	元予算額	1,040千円
取り組むこと					
地域等が実施する防災訓練の支援や、防災・減災の啓発等に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①地域防災リーダー研修の実施 2回以上 ②地域主体の防災訓練への支援 9回以上 ③広報みやこじま(区内全戸配付)を活用した防災マップ等の周知 1回以上 ④出前講座や地域イベント等での啓発を実施 15回以上	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①4回 ②9回 ③2回 ④22回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
災害時の避難行動や日頃の食料備蓄などの必要性が理解できた地域主体の訓練参加者の割合 80%以上 【撤退・再構築基準】50%未満	目標達成見込	目標達成(99%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	-			
年度末	有効	-			
前年度までの実績					
30年度実績 ・地域防災リーダー研修 4回 ・地域主体の防災訓練 13回 ・広報みやこじまを活用した防災マニュアル・マップ、地区防災計画の周知 1回 ・出前講座及び地域イベント等での啓発 27回					

具体的取組1-1-2 区防災対策機能の強化

29決算額	4,915千円	30予算額	3,578千円	元予算額	3,980千円
取り組むこと					
災害時の職員の体制が迅速・効率的に機能するよう区本部体制を強化するとともに、関係機関との連携に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①地域、行政、関係機関と連携した防災訓練の実施 1回 ②区職員及び直近参集者向け訓練の実施 全職員1回 ③区医師会、福祉避難所との連携訓練や意見交換会の実施 1回以上 ④大規模災害時協力事業所、津波避難ビルの指定及び企業等との防災協定の締結 1事業所以上	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①1回 ②1回 ③1回 ④1事業所			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
災害時の役割を理解し訓練に参加できた職員の割合 90%以上 【撤退・再構築基準】50%未満	目標達成見込	目標達成(97%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	-			
年度末	有効	-			
前年度までの実績					
30年度実績 ・地域、行政、関係機関と連携した防災訓練 1回 ・区職員及び直近参集者向け訓練 全職員1回 ・福祉施設との意見交換会等 3回 ・大規模災害時協力事業所、津波避難ビルの指定 2事業所					



1-2 防犯のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の 進捗状況	戦略のアウト カムに対する 有効性	課題
街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> 警察等の関係機関と連携し、地域の防犯力の向上に向けた取り組みを進めるとともに、青色防犯パトロールによる巡回など区民が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、防犯啓発等に取り組む。 	順調	有効であり、継続して推進	—
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞ 住んでいるまちの安全・安心につながっていると感じている区民の割合 3年度までに60%以上	前年度 今年度 個別評価 全体評価 77% 81% 順調 順調		今後の対応方向

具体的取組1-2-1 警察等と連携した防犯活動

29決算額	3,251千円	30予算額	4,331千円	元予算額	3,891千円
取り組むこと					
警察等の関係機関と連携し、地域と協働して防犯活動、防犯啓発に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①警察等の関係機関と連携した防犯活動(ひたたくり防止カバー、盗難防止ワイヤロックの普及)各地域で2回以上 ②職員による青色防犯パトロール実施延べ件数700回 ③夜間における青色防犯パトロールの実施 週2回 ④子どもの見守り防犯カメラ設置補助 3台	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①計21回 ②443回 ③週2回 ④3台 ・防犯出前講座5回、防犯教室3回、特殊詐欺防止啓発10回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
区で実施している防犯事業が犯罪抑止につながっていると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満	目標達成見込	目標達成(81%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	—			
前年度までの実績					
30年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 防犯キャンペーン 2回実施 9地域 防犯教室 1回、防犯出前講座 4回 職員による青色防犯パトロールの実施 517回 夜間における青色防犯パトロールの実施 週2回 子どもの見守り防犯カメラ設置補助 2台 					

具体的取組1-2-2 交通マナーアップの啓発

29決算額	92千円	30予算額	67千円	元予算額	66千円
取り組むこと					
交通事故防止や自転車マナーアップをめざし、警察等の関係機関と連携し、地域と協働して交通ルール及びマナーの啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①交通安全教室の実施 5回 ②警察等と連携した交通安全街頭啓発 2回 ③地域と連携した自転車マナーアップ啓発 2回	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①7回 ②6回 ③4回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
区で実施している交通安全対策事業が交通マナーアップにつながっていると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満	目標達成見込	目標未達成(57%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	啓発方法等の改善が必要と考えられるため、SNSなど様々な媒体を活用した効果的な啓発活動に取り組む。			
前年度までの実績					
30年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の実施 8回 警察等と連携した交通安全街頭啓発 4回 地域及び警察と連携した自転車マナーアップ啓発 5回 					



1-3 人に優しいまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題	
区民の環境美化意識が向上し、路上喫煙やポイ捨てごみの減少による美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> 清掃ボランティア活動への参加など区民の環境美化意識の向上を図るとともに、歩行者が安全に通行できる環境づくりに取り組む。 京橋地域の「路上喫煙禁止地区」における喫煙マナーの向上に向けた啓発活動に取り組む。 				順調	有効であり、継続して推進	—	
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞						前年度	今年度
喫煙マナー等、環境美化意識が向上したと感じる区民の割合 3年度までに 60%以上				49%	61%	順調	順調	—

具体的取組1-3-1 環境美化の推進

29決算額	158千円	30予算額	250千円	元予算額	238千円
取り組むこと					
地域、企業、商店街等と協働し、区内のボランティア清掃活動を推進するとともに、環境美化意識の醸成を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①町会・企業・学校園・商店街と協働し区内一斉清掃活動「都島クリーン作戦」 2回	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①2回 ②12回 ③46回 ④1回			
②未来わがまちビジョン推進会議による毛馬桜之宮公園内での清掃活動「大川かたづけ隊」の支援 12回					
③京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会主体のマナー啓発活動 24回以上					
④ゆめまちロードOSAKA 1回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
道路や公園に落ちているごみが少なくなり、まちが美しく維持できていると感じる区内一斉清掃活動参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満	目標達成見込	目標達成(81%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	—			
前年度までの実績					
30年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 区内一斉清掃活動「都島クリーン作戦」 2回 未来わがまちビジョン推進会議実施の、毛馬桜之宮公園内を清掃する「大川かたづけ隊」清掃活動 10回 京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会によるマナー啓発活動 53回 ゆめまちロードOSAKA 1回 					

具体的取組1-3-2 路上喫煙禁止地区の啓発

29決算額	1,420千円	30予算額	2,167千円	元予算額	1,781千円
取り組むこと					
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」の制度周知の徹底や路上喫煙やポイ捨てを防止など喫煙者のマナー向上に向けた啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 6回以上	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①6回 ②通年 ③1回			
②区役所内電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年					
③喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、区内全域に掲示 1回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」が区民に浸透し、喫煙マナーが向上したと感じる区内一斉清掃活動参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満	目標達成見込	目標未達成(46%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	啓発方法等の改善が必要と考えられることから、SNSなど様々な媒体を活用した効果的な啓発活動に取り組む。			
前年度までの実績					
30年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 6回 区役所電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年 喫煙マナー啓発ポスターを作成し、京橋地域の飲食店・企業などの協力を得て掲示 1回 					